

報道関係者各位

2026 年 2 月 12 日

野村不動産株式会社

野村不動産コマース株式会社

リリースカテゴリ：商業

## 野村不動産初、新大阪にライブハウス「（仮称）BEAT PARK」着工

—新大阪駅徒歩 3 分の立地に、約 1,600 人キャパシティのライブハウスが 2028 年 3 月開業予定—

### 本ニュースリリースのポイント

1. 野村不動産ならびに野村不動産コマースは、初となるライブハウス事業へ参入
2. ロッテホールディングスとともに、新大阪駅徒歩 3 分の立地に、約 1,600 人キャパシティのライブハウス「（仮称）BEAT PARK」を 2026 年 2 月に着工
3. 開放的なホワイエ空間を備え、「聴く、食べる、語る、出会う、創る」を通じた充実したライブ・エンターテインメント体験を提供

野村不動産株式会社（本社：東京都港区／代表取締役社長：松尾大作、以下「野村不動産」）、ならびに野村不動産コマース株式会社（本社：東京都港区／代表取締役社長：鶴沼孝之、以下「野村不動産コマース」）は、初となるライブハウス事業への参入を決定しました。

このたび、新大阪駅から徒歩 3 分の立地にある、株式会社ロッテホールディングス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 CEO：玉塚元一、以下「ロッテホールディングス」）の保有地にて、「（仮称）BEAT PARK（ビートパーク、以下「本施設」）」を 2026 年 2 月に着工したことをお知らせします。

野村不動産は、ロッテホールディングスとともに本施設を開発・保有し、2028 年 3 月の開業を目指します。なお、野村不動産コマースは、野村不動産から業務委託を受け、事業推進業務を担います。



## 1. 事業参入の背景

野村不動産グループは、2030 年ビジョン「まだ見ぬ、Life & Time Developer ヘ ― 幸せと豊かさを最大化するグループヘ ―」のもと、不動産開発および関連サービスを通じて、お客様の生活と時間に寄り添うことを大切にしています。その一環として、エンターテインメント領域におけるベニユー事業<sup>※1</sup>を推進しており、第 1 号案件の「DRUM TAO THEATER KYOTO」<sup>※2</sup>は、2026 年 4 月に京都駅前にて開業を予定しています。

新たに誕生する本施設は、ベニユー事業の第 2 号案件となり、多様なアーティストのライブ公演をはじめ、多彩な体験をお届けすることで、まだ見ぬ新たな体験価値を創造します。

※1：ベニユーとは、イベントが開催される場所であり、特にコンサートやスポーツ、パフォーマンスなどの会場を指します。野村不動産グループは、拡大するライブ・エンターテインメントやプロスポーツ市場を背景に、ホール・アリーナの整備・運営および興行事業に取り組み、体験を通じた幸せと豊かさの創出を目指します。

※2：末尾「『DRUM TAO THEATER KYOTO』について」をご参照ください。

## 2. 「（仮称）BEAT PARK」のコンセプトと特徴

施設名称である「（仮称）BEAT PARK」には、「鼓動が響き合うライブを中心に、食を楽しみ、人と語らい、思いを交わす場所。アーティストとファンの皆さまの熱い想いを共鳴させる場になってほしい。」という想いを込めました。

本施設を象徴するロゴは、音の波形から着想した一本の「ライン」を核にデザインしました。このラインは、ステージと客席、ホワイエをつなぐ「熱狂の軌跡」を描き、波形のデザインで身体に響く BEAT を視覚化しています。

### (1)「新大阪」駅徒歩 3 分の立地

新幹線停車駅である新大阪駅から徒歩 3 分という、関西エリアのみならず全国からのアクセスに優れた立地です。アーティストやファンの皆さまにとってアクセスしやすく、より快適にお楽しみいただける拠点として、関西エリアのさらなる活性化に寄与してまいります。

### (2) 市場ニーズに応える「約 1,600 人」のキャパシティ

現在の大阪エリアのライブ市場において、需要が高い「約 1,600 人」の収容人数を設定。アーティストの多様な公演ニーズに対応することで、ライブ・エンターテインメントシーンをさらに盛り上げてまいります。



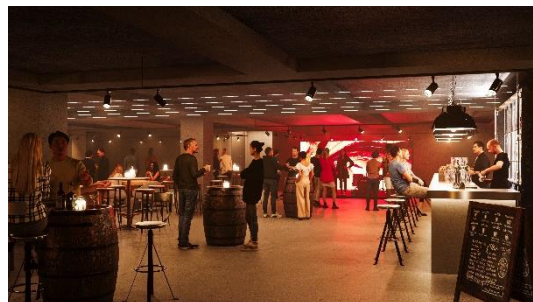
### (3) アーティストファーストの環境整備

常設 LED ビジョンや汎用性の高いハイスpekな機材を導入することで、アーティストの個性や、ライブならではの迫力を存分に打ち出すことができる環境を整備します。さらに、主要なファシリティをあらかじめ備えることで、設営時間の短縮とコスト削減を実現し、ライブ主催者にとっても効率的かつ快適な運営を可能にします。

## (4) 「聴く、食べる、語る、出会う、創る」がすべてあるライブハウス

「聴く、食べる、語る、出会う、創る」が一体となった、複合的な音楽体験を提供します。

開放的なホワイエ空間では、オリジナルの飲食をご用意し、アーティストやファンの皆さまが公演前後の興奮や余韻を分かち合いながら交流を深められる場を創出します。



## 3. 協業パートナー、ロッテホールディングスとの連携

本プロジェクトは、ロッテホールディングスとの協業により推進します。各社のグループビジョンのもと、新たな価値創造に向けた第一歩として、ライブ・エンターテインメント事業への参入という方向性が合致し、協業パートナーとして共に本プロジェクトを推進していくこととなりました。

野村不動産グループが国内外における広範な事業を通じて培った不動産開発・運営力と、ロッテグループがエンターテインメント事業を通じて培ったファンを熱狂させるノウハウを融合させ、新たな体験価値創造に向け、連携を深めてまいります。

## 4. 施設概要

|       |                                          |
|-------|------------------------------------------|
| 名称    | (仮称) BEAT PARK (ビートパーク)                  |
| 所在地   | 大阪府大阪市東淀川区西淡路 1 丁目 3-7、3-8 (新大阪駅 徒歩 3 分) |
| 敷地面積  | 1,727.24 m <sup>2</sup>                  |
| 構造・規模 | 鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造) 地上 4 階建                |
| 収容人数  | 1,590 人 (スタンディング時想定)                     |
| 着工    | 2026 年 2 月                               |
| 竣工    | 2027 年 11 月 (予定)                         |
| 開業    | 2028 年 3 月 (予定)                          |
| 周辺図   |                                          |

※本計画は現時点での予定であり、今後変更となる可能性がございます。

## 【ご参考】「DRUM TAO THEATER KYOTO」について

世界 31 カ国での公演、観客動員数 1,000 万人の実績を誇る DRUM TAO の専用劇場を、2026 年 4 月 9 日（木）に、京都駅前にて開業いたします。

DRUM TAO THEATER KYOTO は、DRUM TAO が和太鼓という伝統を現代に合わせて進化させてきたように、京都の職人やアーティストとのコラボレーションを通じて、伝統文化に新しい表現を加えていくことにも挑戦し、京都の夜の新しい文化発信拠点として、世界に誇る和太鼓エンターテインメントをお届けします。

チケットは下記公式サイトにて販売しております。

（公式サイト：<https://drum-tao-kyoto.com>）



### 施設概要

|     |                                                |
|-----|------------------------------------------------|
| 所在地 | 京都府京都市南区東九条西山王町 31 アバンティビル 9 階                 |
| 交通  | 地下鉄京都駅より徒歩 1 分 / 近鉄京都駅より徒歩 3 分 / JR 京都駅八条口よりすぐ |
| 座席数 | 最大 325 席 ※可動式座席のため、変動する可能性があります                |
| 開業  | 2026 年 4 月 9 日（木）                              |

### 【報道関係者様向けお問い合わせ窓口】

野村不動産株式会社 コーポレートコミュニケーション部（担当：米家・久保田）  
TEL：03-6381-7244 MAIL：hd-cc@nomura-re.co.jp